

このコンサートでは、子ども和楽器体験教室で箏と三味線を学んだ小中学生が、指導ボランティアとともに練習の成果を披露しました。小中学生たちは、指やバチを巧みに操りながら、雅な音色で観客を魅了しました。

今回で、15回目となるコンサートには特徴があります。それは、かつて和楽器体験教室で学んだ高校生・

観月台文化センターは、日本の伝統文化を継承する場にもなっています。神楽、お茶、箏、三味線、囲碁、将棋、日本舞踊…。

このうち、1月25日に行われた国見古典鑑賞会主催の「若い芽のコンサート」を紹介します。

そして受け継がれる
国見の文化

次世代へ文化が 受け継がれる場所として

大学生たちが指導ボランティアとして、小中学生に演奏を教えたり、コンサートで賛助演奏したりしていることです。大人から子どもへ伝えるだけでなく、子どもから子どもへ伝えるという試みは、たくさんの若い芽を芽吹かせています。



国見古典鑑賞会 代表
高橋 幸子さん

子ども和楽器体験教室生の発表の場として続けてきました。子どもたちは熱心に練習に取り組む、今日は素晴らしい演奏を披露してくれました。高校生たちの指導ボランティアがとても頼もしかったです。これからも和楽器を子どもたちへ継承していきたいです。

大好きな場所

子ども司書
(国見小学校5年生)
南 桃夏さん(左)
佐藤 由紀乃さん(右)



子ども司書講座を受講して、今は図書室で司書活動をしています。図書室の裏側を知ることができて楽しいです。ポップを作っておすすめの本を紹介したり、貸出や受付の仕事をしています。図書室は、静かで小説がいっぱいあるから好きです。ぜひ、図書室に来てみてください。それに、観月台文化センターは、勉強するところがたくさんあることも好きな理由です。

来ると笑顔になる

生きがいデイサービス
利用者
菊池 澄子さん



生きがいデイサービスに来るとみんなに会うことができ、楽しいです。何気ない会話で笑いあったり、体操や切り絵などのさまざまな活動をするので毎回楽しみに来ています。ここに来るとリフレッシュして、元気になります。楽しくて時間が経つのが短く感じてしまうほどです。これからもみんなが笑顔で集える場所であってほしいと思います。

それぞれの
笑顔のカタチ

観月台文化センターは、コンサートや会議だけでなく、生きがいデイサービスや図書室、サークル、子どもたちの学習の場など幅広い年代の人が自分たちのカタチで利用しています。誰もが気軽に訪れ、人と交流できる場所。観月台文化センターで、みなさんの声を聞きました。

みんなの笑顔が 集う場所として

Interview

これからは君も
幸せを感じる場所と
なりますように

観月台文化センターで
行われたブックスタート



ブックスタートとは

3か月乳児検診のときに、すべての親子へ「赤ちゃん」と絵本を開く時間の大切さ・楽しさ」また「地域が子育てを応援している」というメッセージを指導員が伝えながら、絵本をプレゼントしています。

さあ、あなたも観月台文化センターを訪れて幸せを共有してみませんか。

今

回の取材で、ブックスタートの赤ちゃんから生きがいデイサービス利用者まで、幅広い年代のさまざまな笑顔に出会いました。そこにはそれぞれの幸せのカタチがありました。人生100年時代といわれる現代では、これまで以上に文化と福祉の充実が重要になります。観月台文化センターはこれからも「訪れる人・利用する人が幸せ

を感じる場所と

ここがあるから 活動できる

人形劇サークル
「エプロン」



「エプロン」は平成7年度に活動をスタートしました。町内外で人形劇の公演をしています。公民館の子育て教室を生かす何かがしたいと始めたのがきっかけです。子どもたちを連れてサークル活動をしながら、子育てについて悩みごとを相談したりしていました。

子どもたちが大人になった今でも、変わらずに集まって楽しく活動を続けています。

気軽に 質問できる

観月台フリー学習生
(県北中学校2年生)
津田 詩織さん



観月台フリー学習室は、学習サポートのお兄さんやお姉さんにわからないことがあれば気軽に質問できることや木の机や椅子がたくさんあって部屋の雰囲気良く集中して勉強できるのでよく利用しています。

観月台文化センターは、図書室で本を借りたり、学習室で勉強したりいつでも気軽に来れる私のお気に入りの場所です。